

## 計算力を身につけるには時間がかかります

第二回テストが終わり、ぼちぼち結果も出てきました。今、分布表まで私の手元に届いているのは石尾の中3だけなのですが、結果を見ると「本当によく頑張ったのだな」ということがわかります。他学年も含め、詳しい結果はまた後日お知らせいたします。

さて、今回のテストにおいて、対策が本当に大変な学年がありました。それは中1です。さらに言えば、石尾台中学1年の数学です。当塾は学校の先取り学習（予習型）のため、定期テストの範囲が発表になるころにはその範囲は学習し終えていて、あとはただ復習するのみ、というのが通常なのですが、今回の石尾中1の数学の範囲は、先取りをしていた当塾でも追い越されてしまうほど先に進んだものでした。したがって、高森はいつもの復習型テスト対策を行い、石尾は特別に時間をとって範囲に追いつくよう授業を進める、という特殊な形式をとらざるを得ませんでした。しかも、進めなければならないのは計算単元という、定着させるのに最も時間のかかる単元だったのです。

計算は、やり方を教えるだけなら5分でできます。そのやり方にしただけでちゃんとミスなくできるようにさせる、つまり習熟させるのに膨大な時間がかかるのです。

例えば今回、高森の範囲は「正の数負の数の四則混合計算」と、「数量を文字で表す」まででした。実はこの四則混合計算にも当塾は6月の約1ヶ月をあてています。ワーク、ドリル、プリントを毎回の宿題に出し、その全ての途中式に添削を入れて直しをさせ、確認テストを行って9割以上できなければ追試を行う……。これだけやっても年々子ども達の注意力が低下しているせいか、なかなかミスがとれません。

石尾の今回の範囲はこれに加え「式の値」と「文字式の四則混合計算」と「方程式」が入りました。“「正の数負の数の四則混合計算」ができていれば「文字式の四則混合計算」も文字が加わるだけだからすぐにできるでしょう”と思うのは素人の考えです。中1にとっては初めての文字式計算、そう簡単にはいきません。マスターするにも1ヶ月かかるのです。子どもは  $X+X+X=X^3$  としてしまったり、 $(5X-6)-(8X-2)=5X-6-8X-2$  としてしまったり、よしんば  $( )$  はずしがきちんとできたとしても  $5X-6-8X+2=3X+4$  としてしまいます。今回塾生も十分とはいえない状態でテストに臨まざるを得ませんでした。

学校での授業の様子を聞いてみると、「範囲が広いから」とおっしゃいつつ2問ほど黒板でやり方を示されておしまいだったとか……。誰が設定した範囲だということでしょうか？

中1諸君、塾では夏にもしっかりと基礎計算力を鍛えます。覚悟しておいてください。